



# 緑内障について

緑内障は失明の原因となる病気ですが、早期発見・治療を行うことで生涯視野と視力を保つことができます。ご自身の目を守るためにも緑内障について理解を深めてもらえればと思います。

## 緑内障とは

緑内障は視神経に障害がおり、視野(目を動かさずに見える範囲)が狭くなる病気です。症状の進行は非常にゆっくりであり、病気はかなり進行するまで自覚症状はほとんどありません。視野の欠損が起きると、欠けた部分は黒くはならず、ぼやけた状態に見えます。

視野の欠損に気づきにくい理由として、左右の目で補い合っている、視線を動かしながら見ている、脳が見えない部分を補正してしまうといったことが挙げられます。

緑内障は40歳以上の中高年者に多い病気です。早期発見のために、定期的な眼科検診を受けることをおすすめします。

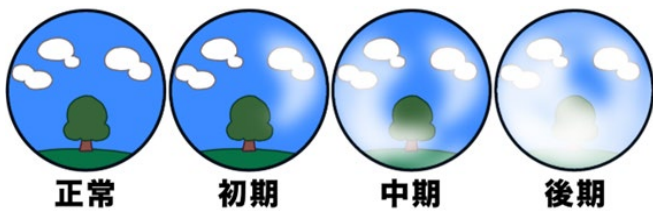


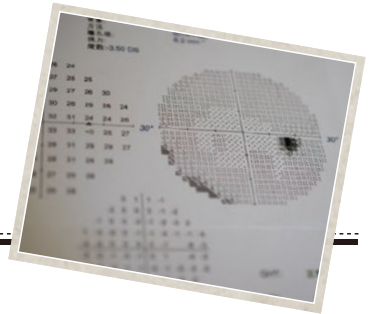
図) 緑内障患者の視野の変化(イメージ)

## 治療について

一度視神経に障害が起きると元には戻りません。そのため、緑内障を完治することはできず、進行を抑える治療になります。症状がなかったとしても、治療を続けることが重要です。

眼圧を下げるのが、視神経を守るために有効であると分かっており、治療の基本方針となります。眼圧は房水と呼ばれる眼の中の液体の量によって決まります。

房水が溜まっている状態ほど眼圧は高くなり、視神経を圧迫します。



## 点眼薬治療

房水の産生を抑える薬や、房水の排出を促す薬などによって眼圧を低下させます。

## 外科的治療

点眼薬だけでは効果が不十分な場合に、レーザー療法や手術が行われ、房水の流出を促します。

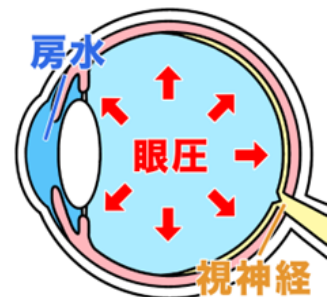


図) 房水と眼圧の関係

## 緑内障患者が使用してはいけない薬について

一部の薬(風邪薬・抗アレルギー薬・睡眠薬など)には眼圧を上昇させる効果のある薬があり、使用することで緑内障を悪化させる可能性があります。そのため、眼科以外を受診する際は、緑内障治療をしていることを伝えるようにしてください。また、緑内障にも種類があり、緑内障の全ての方がそれらの薬を使用できないわけではありません。眼科医に服用できる薬について確認することをおすすめします。

市販薬についても、使用上の注意に緑内障について記述のあるものがあります。服用前に医師や薬剤師に相談をしてください。

【参考文献・資料】

・緑内障 - 目の病気百科 | 参天製薬

<https://www.santen.co.jp/ja/healthcare/eye/library/glaucoma/index.jsp>